



うさぎぐみだより



2025年度 2月号
社会福祉法人尚徳福祉会
生麦保育園

まだまだ厳しい寒さの日が多いですが、少しずつ春の気配の暖かさも感じられるようになってきました。子どもたちは手洗いうがいをしっかりと行いながら、風邪や感染症に負けず元気いっぱい過ごしています。今年度の残り2ヶ月も、子どもたちと楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。



～お正月あそび～

お正月あそびで紙コップのけん玉とヘビ丼を作りました。

けん玉は、それぞれに紙コップに水性ペンで模様を描いたり、シール貼りをしたりして作りました。完成すると、一生懸命に球を紙コップに入れようとして楽しんでいる姿が見られました。

ヘビ丼は、丸い画用紙にクレヨンでお絵描きをしてからヘビの形に切りました。外に出て完成した丼の紐を持って走ると丼がクルクルと回り、大喜びの子どもたちでした。



～節分制作～

節分制作で豆入れの枠を作りました。保育士が作っていると、「鬼だー」「作りたーい」と興味津々の子どもたち。それに好きな色の画用紙を選び、保育者と一緒に箱を折りました。箱は鬼のパンツとして、ハサミで折り紙を切ったものを糊で貼って模様をつけました。顔や髪・角の色も自分で好きなものを選んで作りました。パンツも顔も自分たちで好きな色を選んだので、個性豊かでカラフルな可愛い鬼の箱が出来上りました。



～おはながさいたよ～

11月に、にこにこまんぐるーぐのチームごとに植えたヒヤシンス。子どもたちは、「〇〇チームの葉っぱ大きくなってるよ」「お水替えてあげる」と毎日観察したり、水を替えたりしながら生長を楽しみに見守ってきました。

年が明けて1週間が経った頃、ついに1つ目の花が咲きました。「あ、お花咲いてる！」ととても嬉しそうで、「匂いするかな？」と匂いを嗅いで「ハチミツみたいな甘い匂い」と話す姿もありました。

最初に咲いた花は、赤チームのピンク色の花でした。残りのヒヤシンスは何色の花が咲くでしょうか？引き続き楽しみに生長を見守っていきたいと思います。

～お願ひ～

きりん組に向けて、少しずつご家庭でも、お箸に慣れるよう、使ってみてください。ご協力をよろしくお願ひ致します。

28日（土）には懇談会がありますので、ご参加をお待ちしています。